

# 職場体験学習の実施 ～地域と共にあるキャリア教育の推進～

道志村立道志中学校

## 1. 目的と経緯

本校では、学校教育目標「社会に貢献しながら、自立する生徒の育成～気づき、考え、実行する～」の実現に向けて、3年間を見通したキャリア教育を進めています。その中核となるのが、1・2年生を対象とした職場体験学習です。

この取組は、生徒が実際の職場で働く人々の指導を受けながら体験活動を行うことで、望ましい勤労観・職業観を育むことを目的としています。また、地域の大人との関わりを通して、規範意識や社会性を高め、自らの力で困難や課題を乗り越える力を育む機会としています。

特に、「地域の産業やそこで働く人々の素晴らしさや大切さの発見」を重視し、郷土に対する愛着や誇りの自覚につなげることを目指しています。さらに、3年次に実施する「15歳の村への提言」につながる課題意識を育むことも、大きなねらいの一つです。

## 2. 内容

【期 間】令和7年11月26日(水)から28日(金)の3日間

【事業所】道志村内の9事業所にご協力いただきました。

(製造業、観光業、行政、福祉、保育まで幅広い職種での体験が実現)

【事前学習】自己アピール書の作成、事業所への事前連絡(電話マナー指導含む)、オリエンテーション(服装、持ち物、心構えの確認)を行いました。

【体験内容】各事業所で、実際の業務を体験しました。各事業所の特性を活かした多様な体験ができました。生徒は記録ノートに気づきや学びを記録し、教職員が3日間巡回訪問して活動の様子を見守りました。

【事後学習】体験レポートの作成、お礼状の作成・送付、学習発表会を行いました。

## 3. 成果と課題

### 【成果】

まず、生徒一人ひとりが「働くことの意義」を実感できたことが大きな成果です。生徒の感想から、「自分にもできた」という小さな成功体験が自信につながり、「地域の大人に支えられている」という実感を持てたことが読み取れます。

次に、村ならではの近さが温かさとなって生徒を包んだことです。地域の皆様は生徒のことを、まるで家族のように迎えてくださいました。慣れない作業に戸惑う生徒に寄り添い、優しく声をかけ、できたことを一緒に喜んでくださる姿に、生徒たちは大きな力をもらいました。

さらに、3年次の「15歳の提言」につながる土台ができたことも成果です。実際に村の産業や仕事の現場を体験することで、村の課題や可能性を自分事として考える視点が芽生え始めました。

### 【課題】

一方で、小さな村ゆえの課題もあります。受け入れ可能な事業所が限られるため、生徒の希望と受け入れ先のマッチングに工夫が必要です。また、事業所の皆様には無償でご協力いただき、準備や指導の負担に対して、事業所の負担軽減に向けた連携の在り方が課題です。

今後は、2年間で2つの事業所を体験するカリキュラムの充実を図るとともに、3年次の「15歳の提言」との連動をより明確にし、村の未来を担う人材育成という視点を一層強化していきたいと考えています。

